

# しあわせ信州創造プラン2.0

～学びと自治の力で拓く新時代～

## 長野県総合5か年計画





## 「学びと自治の力」で新しい時代を切り拓く

私たちは、時代の大きな転換期を生きています。

かつて人類が経験したことのない超高齢社会の到来、非婚化や少子化に伴う急激な人口減少、AI・ロボットなどテクノロジーの急速な発達により、私たちを取り巻く社会・経済環境は加速度的に変化しています。また、国連が定めたSDGsの達成や、脱炭素社会の実現に向けては、グローバルな連帯が重要であり、今や日常生活においても世界との繋がりを意識することが不可欠となりました。そして、心の豊かさが希求され、価値観が多様化した今日、集権的・画一的な政策では、県民の皆様の確かな暮らしを実現することは難しくなりつつあります。

このような大きな時代のうねりの中で、県民の皆様お一人おひとりが、人生を楽しみ、しあわせに暮らすことができる長野県を実現するためには、人々が主体的に学び、社会を治めていくことにより、力を合わせて新たな社会の仕組みを創り上げていくことが重要であると考えます。

「みち一筋に学びなば 昔の人にや劣るべき」－今年で制定50周年を迎える県歌「信濃の国」の一節です。教育県と言われてきた本県には、自らが積極的に知識や技能などを身に付けようとする学びの風土があります。また、77市町村がそれぞれの特色を生かしながら発展してきたこと、公民館・自治会の活動が盛んであることなど、自治の意識が強固な県です。

本県に脈々と受け継がれてきたDNAである「学びと自治の力」を活性化することこそが、新しい時代を切り拓き、未来を創造する原動力となるものと確信しています。

The future depends on what we do in the present.

(未来は、今、私たちが何を為すかにかかっている。)

これは、マハトマ・ガンジーの言葉です。

人生100年時代を迎えようとする中、私たちは、「学びと自治の力」を最大限発揮しながら、明日への希望を持って安心して暮らすことができる社会、豊かな自然や農山村の景観などが大切にされる社会、すなわち、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向け、新たな視点で行動を開始します。

県民の皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成30年(2018年)3月

長野県知事 何部 奇一

# 目次

はじめに	1	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり	31
1 計画策定の趣旨	1	(県内高等教育機関の魅力向上)	
2 計画の位置づけ	1	(県内高等教育機関を核とした地域づくり)	
3 計画の期間	1	1-4 生涯を通じて学べる環境の整備	33
4 計画の進捗管理	1		
<b>第1編 現状と課題</b>	<b>3</b>	<b>2 産業の生産性が高い県づくり</b>	<b>37</b>
<b>第1章 長野県を取り巻く状況</b>	<b>4</b>	2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成	38
1 急激な人口減少と東京圏への人口流出	4	(成長産業の創出・集積)	
2 技術革新とグローバル化の急速な進展	8	(AI・IoT等の活用による生産性向上)	
3 人生100年時代へ	9	(起業・スタートアップへの支援)	
4 貧困・格差の拡大	9	2-2 地域内経済循環の促進	40
5 東京オリンピック・パラリンピックの開催	10	(地消地産の推進)	
6 広域交通ネットワークの充実	10	(県産品消費の拡大)	
7 SDGsなど持続可能な社会をめざす気運の高まり	10	(信州農畜産物の活用拡大)	
<b>第2章 長野県の特徴</b>	<b>13</b>	(信州の木自給圏の構築)	
1 豊かな自然環境	13	(エネルギー自立地域の確立)	
2 大都市圏からのアクセスの良さ	13	2-3 海外との未来志向の連携	43
3 多様な個性を持つ地域	13	(海外活力の取り込み強化)	
4 全国トップレベルの健康長寿	13	(国際連携の強化)	
5 自主自立の県民性	13	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進	44
<b>第3章 これまでの取組の成果</b>	<b>14</b>	(次代を担う人材の確保)	
1 しあわせ信州創造プラン(平成25年度～平成29年度)	14	(多様な技術の活用による効率的な経営の促進)	
2 信州創生戦略(平成27年度～平成31年度)	16	(需要を創出するマーケティングの展開)	
<b>第2編 基本目標</b>	<b>17</b>	(消費者とつながる信州の「食」の推進)	
確かな暮らしが営まれる美しい信州		(森林の持続的な管理と多面的な利活用)	
～学びと自治の力で拓く新時代～	18	2-5 地域に根差した産業の振興	47
<b>第3編 政策推進の基本方針とめざす姿</b>	<b>19</b>	(活力あるサービス産業)	
<b>第1章 政策推進の基本方針とめざす姿</b>	<b>20</b>	(時代をつなぐ伝統的工芸品産業)	
1 学びの県づくり	21	(暮らしを支える建設産業)	
2 産業の生産性が高い県づくり	21	2-6 郷土郷就の産業人材育成・確保	48
3 人をひきつける快適な県づくり	22	(人口減少時代の産業人材育成・確保)	
4 いのちを守り育む県づくり	22	(技術革新の進展への対応)	
5 誰にでも居場所と出番がある県づくり	23	(働き方改革の推進とAI・IoT等の活用)	
6 自治の力みなぎる県づくり	23	<b>3 人をひきつける快適な県づくり</b>	<b>53</b>
<b>第2章 重点目標</b>	<b>24</b>	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大	54
<b>第4編 総合的に展開する重点政策</b>	<b>25</b>	(移住・交流の新展開)	
<b>1 学びの県づくり</b>	<b>27</b>	(多様な働き方暮らし方の提案・支援)	
1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	28	3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり	55
(未来を切り拓く確かな学力の育成)		(観光の担い手としての経営体づくり)	
(豊かな心と健やかな身体の育成)		(観光地域としての基盤づくり)	
(すべての子どもの学びの保障)		(世界から観光客を呼び込むインバウンド戦略)	
1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり	30	3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興	58
(地域と学校が連携した教育の推進)		(文化芸術に親しむ基盤づくり)	
(教員と児童生徒が向き合うための環境整備)		(地域に根付く文化芸術の継承・活用)	
		3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興	59
		(2027年大会に向けた体制整備)	
		(スポーツによる元気な地域づくり)	
		3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造	60
		(潤いのあるまち・むらづくり)	
		(官民施設の有効活用)	

3-6	中山間地域での暮らしの価値の再発見 …… 62 (コミュニティを支える人づくり) (創造的な暮らしの基盤づくり)
3-7	先端技術の積極的な活用・導入 …… 63
3-8	生活を支える地域交通の確保 …… 65 (自家用車に依存しない地域づくり) (生活の基盤となる道路網の整備)
3-9	本州中央部広域交流圏の形成 …… 66 (鉄道の整備促進・利便性向上) (高規格幹線道路・地域高規格道路の整備) (信州まつもとと空港の発展・国際化の実現)
<b>4</b>	<b>いのちを守り育む県づくり</b> …… 71
4-1	県土の強靱化 …… 72 (消防防災体制の充実) (災害に強いインフラ整備)
4-2	ライフステージに応じた健康づくりの支援 …… 74 (保健活動の推進) (信州ACE (エース) プロジェクトの新展開)
4-3	医療・介護提供体制の充実 …… 75 (ニーズに応える医療の提供) (医療従事者の養成・確保) (心と身体の健康を守る疾病対策の推進) (地域包括ケア体制の確立)
4-4	生命・生活リスクの軽減 …… 77 (生きることを包括的に支える自殺対策の強化) (交通安全対策の推進) (山岳遭難の防止) (消費生活の安定と向上) (食品・医薬品等の安全確保) (犯罪のない安全な社会づくり)
4-5	地球環境への貢献 …… 80 (脱炭素社会の構築) (生物多様性の保全) (水・大気環境等の保全) (循環型社会の形成)
<b>5</b>	<b>誰にでも居場所と出番がある県づくり</b> …… 85
5-1	多様性を尊重する共生社会づくり …… 86 (障がい者が暮らしやすい地域づくり) (福祉を支える体制の充実) (社会的援護の促進) (人権を尊重する社会づくり)
5-2	女性が輝く社会づくり …… 88
5-3	人生二毛作社会の実現 …… 89
5-4	若者のライフデザインの希望実現 …… 90 (結婚の希望の実現) (妊娠・出産の安心向上) (魅力ある子育て環境づくり)
5-5	子ども・若者が夢を持てる社会づくり …… 92 (困難を抱える子どもへの支援) (子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援)

<b>6</b>	<b>自治の力みなぎる県づくり</b> …… 97
6-1	個性豊かな地域づくりの推進 …… 98 (自主的な地域づくりへの支援) (新時代に適合した県と市町村の関係構築) (多様な主体との連携・協働)
6-2	信州のブランド力向上と発信 …… 100
6-3	地域振興局を核とした地域課題の解決 …… 101

## 第5編 地域計画 …… 103

佐久地域	108
上田地域	116
諏訪地域	122
上伊那地域	128
南信州地域	136
木曾地域	144
松本地域	154
北アルプス地域	160
長野地域	168
北信地域	176

## 第6編 チャレンジプロジェクト …… 185

1	人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくり プロジェクト …… 188
2	共創を促進するイノベティブな産業圏づくり プロジェクト …… 190
3	未来に続く魅力あるまちづくりプロジェクト …… 192
4	美しく豊かな木と森の文化の再生・創造プロジェクト …… 194
5	安心できる持続可能な医療・介護の構築 プロジェクト …… 196
6	人生のマルチステージ時代における多様な生き方の 支援プロジェクト …… 198

## 第7編 「学ぶ県組織」への転換 …… 201

## 公共事業の主な整備箇所一覧 …… 205

## 参考資料 …… 213

1	策定経過 …… 214
2	重点目標及び関連目標 …… 220
3	フォローアップ指標 …… 229
4	「信州創生戦略」の施策との主な相関関係 …… 233
5	SDGs (持続可能な開発目標) との関係 …… 234

## 用語解説 …… 241

「\*」のついた用語は、241ページ以降の用語解説をご覧ください。



## 1 計画策定の趣旨

私たちが生きる現代社会は、第4次産業革命\*と呼ばれる技術革新が進展し、工業社会、情報社会に続く、超スマート社会に向かって急速に変化しています。日本では、人口減少と少子高齢化、東京圏への人口の一極集中が進み、右肩上がりの経済成長や人口構造を前提とした旧来型の社会システムは、もはや通用しなくなりつつあります。

私たちを取り巻く環境が大きく加速度的に変化する中であって、県民の皆様が将来にわたってしあわせに暮らし続けられるようにするためには、豊かな自然や独自の文化、健康長寿などの価値を大切に守り育てながら、先行きが見通せない現状を打破し、新しい時代にふさわしい社会の仕組みを創造していかなければなりません。

この計画は、こうした潮流を的確に捉え、県づくりの方向性を明らかにし、県民の皆様と共有しながら、夢や希望の実現に取り組んでいくために策定するものです。

## 2 計画の位置づけ

この計画は、県政運営の基本となる総合計画であり、次の性格を有するものです。

- 概ね 2030 年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための今後 5 年間の行動計画
- まち・ひと・しごと創生法（平成 26 年法律第 136 号）に規定する都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略〔信州創生戦略を継承〕
- SDGs（持続可能な開発目標）\*の達成に寄与するもの〔経済・社会・環境の 3 側面の課題に統合的に取り組み、誰一人取り残さない社会の実現をめざす〕

## 3 計画の期間

2018 年度（平成 30 年度）から 2022 年度までの 5 年間とします。

## 4 計画の進捗管理

計画の実行に当たっては、設定した達成目標をもとに、SDGs（持続可能な開発目標）の観点も加えて、毎年度政策の進捗状況の評価を実施し、PDCAサイクルを回していくことにより、計画の実効性を高めます。

進捗管理については、評価の客観性・妥当性を担保し、説明責任を果たすため、策定に関与した総合計画審議会において実施します。また、その評価結果は、県議会に報告するとともに、県民の皆様に分かりやすく公表します。

